

# みやぎハイスクール通信

発行日：令和4年10月31日

発行者：宮城県教育庁高校教育課

<https://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyou/gak-mailmaga-bknum.html>

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップ通信、部活動やボランティア活動などの各学校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなど各高校の魅力的な取組の情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択にぜひ御活用ください。

## 10月号の目次

### 1 マナーアップ通信

- |            |          |            |
|------------|----------|------------|
| (1) 仙台第三高校 | (2) 富谷高校 | (3) 古川工業高校 |
|------------|----------|------------|

### 2 特色ある取組

- |             |             |              |
|-------------|-------------|--------------|
| (1) 蔵王高校    | (2) 名取高校    | (3) 泉高校      |
| (4) 岩出山高校   | (5) 加美農業高校  | (6) 登米総合産業高校 |
| (7) 迫桜高校    | (8) 石巻好文館高校 | (9) 石巻北高校    |
| (10) 石巻工業高校 |             |              |

### 3 学校紹介

- |            |           |            |
|------------|-----------|------------|
| (1) 柴田高校   | (2) 角田高校  | (3) 仙台向山高校 |
| (4) 仙台三桜高校 | (5) 泉松陵高校 | (6) 第二工業高校 |
| (7) 古川高校   |           |            |

### 4 コラム

- |            |          |          |
|------------|----------|----------|
| (1) 白石工業高校 | (2) 村田高校 | (3) 佐沼高校 |
| (4) 志津川高校  |          |          |

### 5 お知らせ

- |           |            |
|-----------|------------|
| (1) 宮城野高校 | (2) 一迫商業高校 |
|-----------|------------|

# 1 マナーアップ通信

## (1) 仙台第三高校<三高マナーアップ運動>

本校はとても自転車通学者の多い学校のため、主に自転車マナーの啓発運動に取り組んでいます。これらマナーアップ運動は交通安全委員会を中心に活動しています。

活動の概要として、一つめは年4回ほど職員や交通安全委員会の生徒が学校周辺10箇所において朝の立ち番指導を実施します。委員会で作成したカードを掲げ、旗を持って交差点等に立ち、登下校の生徒へ声がけします。この活動はPTAの方々や地域の交通安全協会の方の御協力のもと、合同で実施しています。さらに、マナー状況によって生徒自ら臨時で追加の立ち番指導を行うこともあります。地域の方々と交流することもでき、さらに普段は知ることのない危険箇所を把握することへもつながり、とても大切な活動です。

二つめは三高ロードマップです。学校周辺の危険箇所をイラストでマップ化したものを作成し、クラスや校内に掲示しています。登下校中における具体的な危険箇所を目に見える形で全校生徒へ情報共有しています。こちらは今年交通安全委員会で参加したサイクルサミットでも発表しました。こちらを活用した面白いアイデアが各校へ広がり、各校マップ作成をしてもらうことで交通安全の啓発へつながるという提案をととても評価していただきました。

その他にも、所管の警察官による交通安全講話を実施し、自転車の安全な通学について学びました。また仙台三高交通安全報を発行することで、危険を感じるような事態をすぐさま情報共有し、安全喚起に努めています。今後も定期的な活動と、情報共有を続けながら交通安全マナーアップ運動に努めていきたいと思えます。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sensan.myswan.ed.jp/>

## (2) 富谷高校<マナーアップ強化日 ~毎月15日~>

富谷高校は、自転車通学の生徒が半数以上を占めており、定期的に正門及び東西門で交通安全指導を行っています。月ごとに決められた期間、生活委員の生徒や教員が交通安全を呼びかけています。その中でも毎月15日は「マナーアップ強化日」として生徒指導部員や校長、教頭が正門に立って生徒に声かけします。



今年度の「秋の交通安全運動」において、9月21日(水)は富谷高校前交差点で黒川地区交通安全協会成田支部の方とともに生徒指導部長が交通安全の声かけをしました。9月26日(月)と28日(水)の国道4号線富ヶ丘ニュータウン入り口交差点での交通安全指導では、校長、教頭、総務部長、生徒指導部員の教員も参加し、更に本校PTAの役員の方も参加してくださいました。これらの活動では、地域の交通安全協会の方や警察の方、富谷市長さんが参加することもあり、地域が一丸となって交通安全に取り組んでいます。

富谷高校は、今後もこのような活動を通して交通マナーを生徒に身に付けさせ、地域の一員として社会に貢献できる人材を育てていきます。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://tomiya-h.myswan.ed.jp/>

## (3) 古川工業高校<マナーアップ運動>

本校では、各クラスより選出された生活安全委員が定期的にマナーアップ運動を行っています。内容は、通学路において、登校時の本校生に交通ルールの遵守や交通安全の呼びかけ、そしてなんととっても爽やかな挨拶を行うことです。

昨年度は、マナーアップ運動の日を10回設け、学校周辺の通学時のマナーを生活安全委員と先生方でチェックし、自転車の横並び走行や、スマートフォンの使用等の「ながら自転車運転」をしないように声掛けを行いました。しかし、残念なことに新型コロナウィルス感染症拡大や悪天候の影響があり、予定した10回を実施することはできず、7回の実施にとどまりました。

今年度は、9回のマナーアップ運動を予定しております。是非実施し、本校生の通学マナーの向上につなげたいと考えております。

交通関係については、本校及び通学路周辺の市民の皆さまから、苦情をいただくことがあります。また、交通事故被害者や自損事故による重傷者も数は少ないものの存在します。新たな取組として、学校周辺ハザードマップを作成し、本校生のより安全な生活につなげたいと考えております。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://furuuk-h.myswan.ed.jp/>

## 2 特色ある取組

### (1) 蔵王高校<ZAP (蔵王あすなろプロジェクト)>

本校では、総合的な探究の時間をZAP (蔵王あすなろプロジェクト) と名付け、学校活動と社会とを有機的に結びつけた地域密着型の課題解決プログラムとして実施しています。地元で活躍している社会人を招いての地域学習や近隣施設でのボランティア活動、梨の摘果作業などの体験学習等をとおして、教室の中の学びがどのように社会とつながっており、自分はどのような社会人になるのか、という具体像を描くことができます。学習発表会は蔵王町ございんホールを貸し切り、町役場の職員の方々だけではなく、ゲートボール協会や地域住民の方、保護者や同窓生などが多数訪れる中、全生徒が発表します。

地域に根ざした開かれた学校を目指し、蔵王高校生はいつも生き生きと活動しています。



写真は一昨年度の学習発表会のものです

< 学校のホームページはこちらです >

<https://zao-h.myswan.ed.jp/>

### (2) 名取高校<家政科>

6月28日(火)「色彩講座～カラーコーディネートを知ろう！」

色彩検定士の先生を迎えて、職業人としてのマナーを交えながら、似合う色の見つけ方等を学びました。生徒はドレス製作やテーブルコーディネートに役立てようと真剣に聞き入っていました

7月19日(火)「JOCA 東北による高校生と乳幼児親子交流会」

JOCA 東北 (公益社団法人青年海外協力協会) が運営する J's Kids を訪問し、子育てに奮闘する親の姿や親と子が互いに成長していく過程について学ぶ機会となりました。生徒は久々の乳幼児との触れ合いに感動していました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

### (3) 泉高校<球技大会>

9月1日(木)、2日(金)の2日間、本校の3大行事のうちの最後の行事である球技大会が開催されました。2日間にわたり、生徒たちがクラス対抗で、サッカー、バスケ、バレー、ソフトボール等の競技に分かれて、屋内外で熱戦が繰り広げられました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために応援等の制限をしながらの開催でしたが、実行委員会を中心に盛大に大会が開催されました。クラスごとに作成したカラフルで様々なデザインのユニフォームを着ることによって、クラスが一致団結して試合に臨むことができました。また、自分たちの試合のない時には、クラスメイトを拍手で応援するなど、クラスの絆がさらに深まったように感じます。勝ち負けにかかわらず、試合後のすべて出し切った清々しさがとても印象的でした。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://izumihigh.myswan.ed.jp>

### (4) 岩出山高校<政宗公まつりへ参加しました!>

9月11日(日)に岩出山地域にて「第59回政宗公まつり」が開催されました。コロナ禍によって3年ぶりの本格開催でしたが、岩高生全員で参加しました。竹法螺演奏や若武者隊に扮して町を練り歩いたり、着付けや給水の補助などの裏方としても活躍し、まつりを盛り上げました。

写真の「牛鬼」は愛媛県宇和島市から伝わったもので、大勢の生徒達が担いで町内を練り歩き、大きく首を振るたびに沿道の観客の方がとても喜んでくださいました。思わぬ暑さの中ではありますが、皆さんに喜んでいただけて生徒達は達成感と充実感を得ることができました。

岩出山高等学校は、今後もこのような地域貢献活動を通じて、本校の魅力発信や学校生活の充実を目指していきたいと考えております。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://iwadeyama-h.myswan.ed.jp/>

## （５）加美農業高校＜おいしい農作物をつくり，お客様に届けて＞

本校では、生徒たちの手で育てたお米、野菜、果物、花などの農作物の販売を行っています。定期的に販売会を開催し、各専攻班に分かれて、生徒自ら販売しています（写真１）。他にも、地域での移動販売会（写真２）、色麻町のかつぱ市や加美町の花楽市（からくいち）等へ出店しています。特に JGAP 認証を取得した加美農米はイオングループでの店頭販売、海外への輸出もしています。人気のある農作物はすぐに売り切れになってしまいます。このような活動をとおして、生徒たちは作る喜びを実感し、お客様への接客の仕方や農場経営について学んでいます。

みなさんも生徒たちが育てた自慢の美味しいお米、野菜、果物などの農作物を購入し、食べてみませんか。学校のウェブサイトでは本校の農場の様子や農産物販売会の情報をブログで公開しています。是非御覧ください。



写真１ 校内での販売会



写真２ 地域での移動販売会

＜ 学校のホームページはこちらです ＞

<https://kamino-h.myswan.ed.jp>

## （６）登米総合産業高校＜本校の取り組み＞

今年度、本校では2年振りに10月下旬と11月上旬の2回に分けて、市内の事業所の協力をいただき、3日間のインターンシップを実施する予定です。実習先での仕事の内容等を経験し、社会人としての基礎的・汎用的能力や望ましい職業観・勤労観を身に付けることを目的としています。

また、今年度からBYAD(タブレット端末の個人購入)により1人1台環境を実現し、タブレット端末を活用して新しい学びに対応する授業を行なっています。毎年11月上旬には先生方を対象としてICT授業研究会を実施するなどして、本校で学ぶ皆さんに、グローバル化や急速な情報化、技術革新など社会の激しい変化に対応し、産業界をリードする人材育成を目指した教育活動を行なっています。

詳しいことは、学校のホームページへアクセスしてください。「学習の特色」のメニューの中に「ICT教育」のページを設けていますので、ぜひご覧ください。



＜ 学校のホームページはこちらです ＞

<https://tomesou.myswan.ed.jp/>

## （7）迫桜高校＜「産業社会と人間」・「ドリカムプラン発表会」＞

「産業社会と人間」は、総合学科の学校設定教科に関する科目です。通称“産社”と言われ、1年次の前期に週4時間行われます。産社は、生徒それぞれが将来の夢の実現のために「今、必要な力を付ける」ことに向けた実践的な学習の時間です。『自分史作成』、『科目選択』、『職業人講話』など、実際に見たり聞いたり、友達と話し合ったりしながら自分自身の生き方を考え、「自分の夢の実現」のために何をすれば良いのか具体的な計画を立てます。計画を立てる中で迷いや悩みを抱えることもあるかもしれませんが、その迷いや悩みを自分の力で解決していくのが産社を学ぶ意味でもあります。



写真：ドリカムプラン発表会

産社の最後には自分の夢の実現に向けた設計図を「ドリカムプラン」として仕上げます。

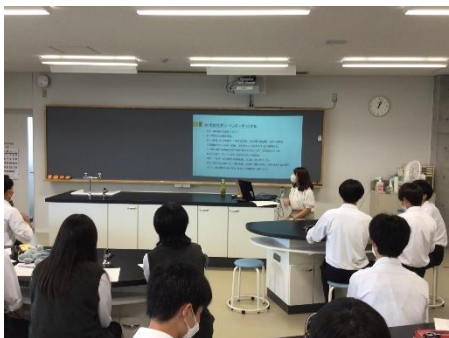
9月15日（木）に、その仕上げたプランの発表会が行われました。代表者の発表を真剣に聞き、メモを取りながら自分のプランとの比較を行う姿を見ることができました。

＜ 学校のホームページはこちらです ＞

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

## （8）石巻好文館高校＜1年次在り方生き方研究「自己発見」 ～社会人講話～＞

本校の総合的な探究の時間「甲斐ある人といわれたいむ」において、9月7日（水）に「社会人講話」を1年次で実施しました。本校の1年次における探究の時間では、「在り方生き方研究」と「SDGs 探究活動」の2つのテーマに取り組んでいます。「社会人講話」は「在り方生き方研究」の一環として行うもので、普段は接することの少ない社会人の方をお呼びして、それぞれの職業についての講話を聴き、将来の進路や自身の在り方生き方についての考えを深めることを目的としています。当日は10名の講師の方をお招きし、生徒たちは講師の先生毎に20人前後に分かれて講話を聴きました。講師の方々には、広告代理店や飲食店、リフォーム業などの会社経営者や薬剤師、学校事務、消防士、新聞記者などと多岐にわたり、仕事内容だけではなく、経験談なども交えながらの講話をいただき、生徒はメモを取りながら、熱心に聴いていました。



＜ 学校のホームページはこちらです ＞

<https://koubunkan.myswan.ed.jp>

## (9) 石巻北高校〈おいでよ!と・ら・ま・い!〉

石巻北高校がある石巻市鹿又地区では、古くから伝統芸能「虎(とら)舞(まい)」が伝わっています。これにちなんで、校地内に設けられた交流広場販売所を「と・ら・ま・い」と名付け、野菜などを地域の方々に販売する活動を行なっています。2012年5月から営業を始め、多くのお客様にご利用いただいております。校内で生産した野菜や加工した食品を販売し、生徒が接客を行います。地元の方々が長蛇の列を作るほど人気店となっています。

この活動は、総合学科である本校の5つの系列が連携したものになっています。食農系列は商品の供給、家庭系列はレシピの提供、経情系列は経理と経営、教養系列はコロナ対策のための運営、進学系列は「とらまい通信」の編集と発行をそれぞれ担当しています。他にも、生徒会では他校の商品の受託販売や学校行事の動画を作成し放映しています。全校が関わる一大プロジェクトになっています。

5月から年間12回行う予定で、今年度は11月2日(水)・16日(水)、12月7日(水)の残り3回です。近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

『めざせ!地域のスペシャリスト』

みなさんも石巻北高校にきて、様々な活動に取り組んでみませんか?



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://ishikita.myswan.ed.jp>



HPアクセス用二次元コード



## （10）石巻工業高校〈コロナ禍でも進路実現～工場・現場で働くとは？～〉

本校では、卒業後に就職を目指す生徒が多数います。（もちろん進学もできます）仕事って何だろう？工場や現場ってどんなところだろう？イメージしにくい部分があるかと思います。本校ではそんな疑問解決の一助として、工場見学や希望者を対象にインターンシップを実施しております。コロナ禍の影響で、これまでと異なり現場を見ることができない場合もありますが、「五感で感じ取る見学会」を実施していただくなど、コロナ禍でも実りある見学会を実施できております。

また、ICTを活用してオンラインでの企業説明等も行われております。これまではあまりなかった、生徒本人が直接人事担当の方と具体的な情報交換を行える機会も増えて参りました。

石巻工業では、コロナ禍であっても自分の将来を考える機会を大切にしております。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://ishiko.myswan.ed.jp/>

## 3 学校紹介

### （1）柴田高校〈柴高祭2022開催～爆発！柴田高校～〉

9月2日（金）から3日（土）にかけて、文化祭を開催しました。今年のテーマは「爆発！柴田高校」、コロナ不安を吹き飛ばすような、活気のある文化祭にしていこうという意気込みで準備を進めてきました。

当日は有志グループによるダンスの発表、部活動による展示に加え、クラス毎の発表も追加、各クラスのオリジナリティ溢れる出し物で一層盛り上がりました。ダンスや劇の練習、道具の準備等のクラス活動は団結力の向上につながっています。新型コロナウイルス感染拡大防止のために規模を縮小しての開催となりましたが、充実した2日間となりました。

また今年は保護者限定ではありますが、一般公開を行うことができました。御来校いただいた皆様、ありがとうございました。

学校生活の様子は随時HPでもお知らせしていきます。どうぞ御覧ください。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://sibata.myswan.ed.jp/>

「クラスパフォーマンスの様子」河北新報社提供

## (2) 角田高校<「いま、角田から無限の宇宙へ」～磨きあう仲間たちと～>

○角田高校の様々な魅力から大きく3つのポイントを紹介します。

### ■Point1 新体育館・新テニスコート完成

念願の新体育館と新テニスコートが昨年度完成しました。生徒の活躍を後押しする環境整備を積極的に行っています。

### ■Point2 第2校章作成

新体育館の完成や様々な場における生徒の活躍もあり、さらなる飛躍を目指して第2校章を作成しました。角田と縁のある伊達藩の名将石川公の戦いの旗印に由来したものとなっています。

### ■Point3 地域との連携

総合的な探究の時間の時間では、今年度は角田市及び認定 NPO 法人カタリバと連携して各生徒が課題解決に向けた取組みを行っています。

また、JAXA 角田宇宙センターとも講演会の実施など角田の地の利を生かした連携を進めています。他にも様々な魅力があります。詳しくはホームページを御覧ください。



JAXA による講演会



第2校章

< 学校のホームページはこちらです >

<https://kakuko.myswan.ed.jp>

## (3) 仙台向山高校<第48回向陵祭>

去る8月26日(金)、27日(土)に本校の文化祭である「向陵祭」が「Bubble～はじける青春～」をテーマに開かれました。

さまざまな制約がある中、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら各団体の展示発表及びそれを紹介するPR動画、全体企画、文化部ステージ発表、バンド演奏、バザーなど、盛りだくさんの企画が行われました。各団体とも工夫を凝らしたものがかりで、大いに盛り上がりました。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、一般公開日である土曜日には、2、3学年の保護者の皆様だけ御来場いただきました。

この向陵祭は、企画から宣伝、運営、会計に至るまで、生徒の手によって行っています。仙台向山高校では多くの行事を生徒自らが手掛けています。10月には「秋の中庭コンサート」を企画・開催し、各教室に中継する予定です。

皆さんも、仙台向山高校で生き生きとした高校生活を送ってみませんか。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://mukaiyama.myswan.ed.jp/>

## (4) 仙台三桜高校<「三桜祭」>

○8月26日(金)校内発表, 8月27日(土)一般公開

家族限定ではありましたが3年ぶりに一般公開を伴った「三桜祭」が開催されました。一昨年は完全中止, 昨年は校内発表だけの「三桜祭」でしたので, 一般公開を伴った「三桜祭」は3年生にとっても初めての経験で何かと苦労しました。一般公開をすると, このコロナ禍でたくさんの制限があり, その制限の中で実行委員会を中心に知恵を出し合って様々な催しを企画して実行しました。オープニングでは有志によるバンド演奏, ダンス披露, 全校参加のクイズ大会, 部活動対抗ゲーム大会を実施しておおいに盛り上がりました。

文化部による展示は日頃の成果について発表していましたが, どの部もここぞとばかりに力を入れた発表内容で見応え十分でした。3年生はクラス独自の企画でクラス参加をしました。夏休み明けから準備を始めて, 当日はおそろいの衣装で着飾って, 三桜祭を華やかに演出しました。

【三桜祭を終えた生徒の感想】

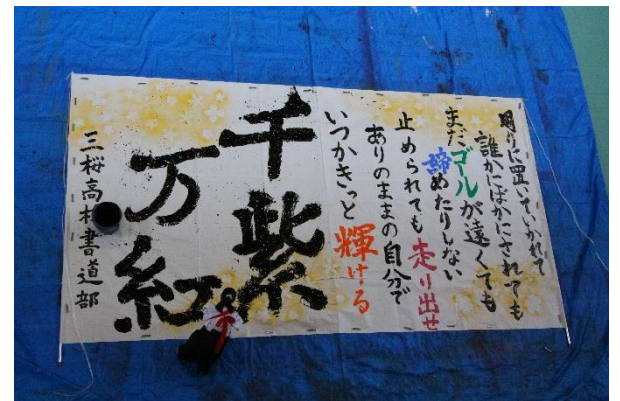
・3年実行委員長(男子)

今年の「三桜祭」は大成功でした。生徒だけでなく, 来校してくれた家族の方も一緒に盛り上がって「三桜祭」を楽しんでくれました。コロナ禍という制限の多い中でしたが, それぞれが出し物に工夫を凝らして目一杯楽しんでくれました。最後に三桜祭に準備から関わってくれたみなさん, お疲れ様でした, そしてありがとうございました。

・3年実行委員(女子)

今年は昨年よりも規模を拡大しての開催でした。文化部の展示や3年生の模擬店では感染対策をしっかりと行いながらも, いろいろな工夫を凝らしてどこも大盛況な2日間でした。文化部や有志団体のステージ発表もとても盛り上がって三桜高校全体が活気に包み込まれた2日間でした。

まだまだ新型コロナウイルスが世間を脅かしていますが, 後輩達には今年よりも素晴らしい「三桜祭」を作り上げて欲しいと思います。



< 学校のホームページはこちらです >  
<https://sen3o-h.myswan.ed.jp/>

## （５）泉松陵高校＜ボランティア活動への参加＞

本校では、年間を通して、多くの生徒がボランティア活動に積極的に参加しています。主な内容は、あいさつ運動や街頭募金活動、地域の児童センターにおける算数教室やお祭りの準備等、多岐にわたります。中には、募集がかかるとう即日定員を超過してしまうものもあり、本校生徒のボランティア参加に対する意識の高さをうかがい知ることができます。

また、部活動単位でも地域貢献を目指して、ボランティアに取り組んでいます。地域の落ち葉拾いや雪かき、チアリーダーが児童センターを訪れて、児童に基本動作から教えるチアリーディング体験教室、本校の弓道場で小中学生を対象に行う弓道体験教室、科学部による科学実験教室等、いずれも地域の方から好評を得ています。

様々な活動を通して、地域の方々と交流を図ることはもちろんのこと、地域と共に歩み、地域に愛される学校を目指しています。



＜学校のホームページはこちらです＞

<http://shoryo.myswan.ed.jp>

## （６）第二工業高校＜ひとつの家族 宮二工＞

本校は、電子機械科と電気科の2学科からなる夜間定時制工業高校です。学校は午後5時からの給食でスタートします。温かく、栄養バランス抜群のおいしい給食は生徒たちに大好評です。人気メニューはラーメンや各種どんぶりなどで、おかわりすることもできます。

給食後、午後8時45分まで4時間の授業を行います。現在の各クラスの生徒数は1クラスあたり2～5名と少人数で、とてもアットホームな雰囲気です。先生や友人たちに気軽に相談できる、生徒たちにとって大変心地よい居場所になっているようです。また、授業や実習も先生が一人ひとりの理解度や進度を確認しながら、丁寧に進められています。

多くの生徒が昼間は仕事（アルバイト）に励んでおり、毎日充実した高校生活を送っています。



＜学校のホームページはこちらです＞

<https://m2k.myswan.ed.jp>

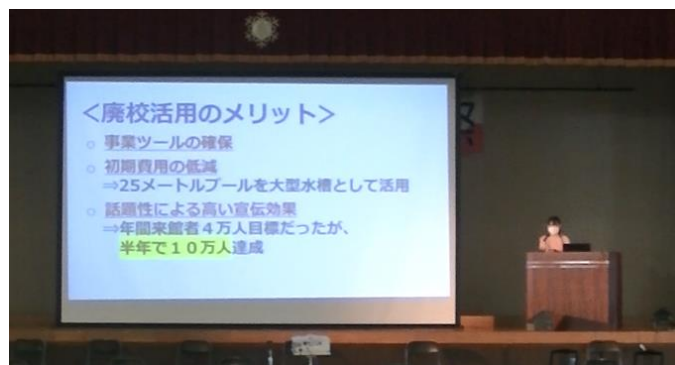
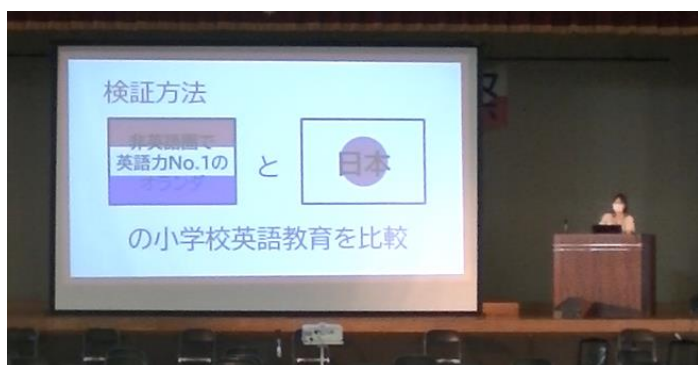
## (7) 古川高校<『総合的な探究の時間』で学ぶこと>

古川高校では、3年間、毎週木曜日の7時間目に『総合的な探究の時間』があります。この時間では、地域や社会の課題を見つけ、その解決策を友人と協力しながら探究する力を養います。また、調べたことや考えたことを他の人に伝える力も養うことを目指します。

ところで、皆さんは自分の将来についてどのようなことを考えていますか？高校生活を充実させるためには、将来の目標をしっかりと見定めることが大切になります。そのためには、自分が何に興味があるのか、どんな適性があるのかに気付くことが必要です。「総合的な探究の時間」を使って、地域や社会の課題を見つけるわけですが、その際には自分が興味のある課題に取り組んでもらいます。興味があるということは、将来のその分野に関連することを仕事とする可能性が高いと思われる。より深く探究していくことによって、自分の将来を考えるきっかけにもなるわけです。

変化のスピードがどんどん速くなっている現代社会では、答えが見つからない課題がどんどん出てきています。まさに今回の新型コロナウイルスの感染拡大に直面した人類が、どのようにこの問題に立ち向かっていけば良いのか。この地球上にその完全な解決策を持っている人はどこにもいません。今回のコロナの問題だけでも、文系・理系問わず様々な課題が見えてきます。まさに今の時代、次々に出てくる課題に立ち向かい、その解決策を探る力を持っている人材が求められています。「総合的な探究の時間」は、社会から求められる人材に自分を近づけていくための時間でもあるのです。

7月に行われた文化祭では、昨年度の1、2年生が行った探究活動のうち、3つの優秀なグループが発表しました。1年生は残念ながら先輩たちの発表を直接見ることはできませんでしたが、録画した動画を見て、自分たちの探究活動の参考にしたい様子です。新型コロナウイルスの感染拡大がこれからどのように変わっていくか不透明ですが、1年生は今後、自分たちが取り組んでいる探究活動をより深めるために、情報収集の一環として地域に出て行ってフィールドワークを行う予定です。2年生は、1年生から取り組んだ課題を深めたり、新たに課題を設定したりして、個人での探究活動へと移行していきます。2年生の中には、自分の探究活動の成果を英語でまとめて発表することを目指す人もいそうです。今年度の1年生も2年生も自分の進路と結びつけた探究活動になっていくことを期待しています。



昨年度末の発表会で優秀な探究活動として選ばれたものを今年度の文化祭で発表している様子  
(令和4年度3年生)

< 学校のホームページはこちらです >

<https://furuko.myswan.ed.jp/>

## 4 コラム

### (1) 白石工業高校<軽音楽部>

白石工業高校軽音楽部は「一音入魂」で毎日の部活動に取り組んでいます。

今年度は、3年生バンドの「Parvas」が、全国から105バンドが参加した「全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル2022 夏の陣」において、日本一に輝きました。また、同大会では、ベストプレイヤー賞としてギター部門で優勝、ベース部門でも第3位に入賞することができました。

しかし、本校の軽音楽部は大会で優勝することだけを目標にしているわけではありません。一番大切にしていることは、音楽を通して、ひとりの人間として成長することにあります。軽音楽部では、校内での活動に留まらず、各種イベントや各ライブハウスでも精力的に活動を行っています。その陰では、音響スタッフや会場設営など様々な方々の協力があって成り立っています。ステージ外で感謝の意を表すことは当然ですが、ステージでもただ上手く演奏しようではなく、そうした支えてくれるスタッフや家族に感謝の気持ち込めて演奏するようにしています。それが部訓でもある「一音入魂」です。音楽に上手い下手は関係ありません。その人の気持ちが音になって聴く人の心に響きます。皆さんも、本校軽音楽部で一音入魂でRockしませんか。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://shiroishi-kougyou.myswan.ed.jp/>

### (2) 村田高校<村高3年次生 第一希望の進路へ好発進！ ～質の高い進路達成100パーセントを目指して～>

現在、村田高校の3年次生は、それぞれの進路目標の達成に向けて、一生懸命に取り組んでいます。

今年度は就職希望者と進学希望者がほぼ半分ずつとなっています。9月中旬から民間企業の採用試験が始まっており、早速内定をいただいた生徒が続々と出始めています。

大学や専門学校などへの進学希望者は、多くの生徒がAO入試や推薦入試を利用するため、勉強だけでなく小論文や面接の練習などにも必死で取り組んでいます。

基礎学力やコミュニケーション能力など、3年間で身につけた力を発揮し、大きな夢への第一歩を踏み出そうとしています。

“ 村田高校は、「未来を拓く、選択肢が広がる」単位制・総合学科の高校です ”



【 進路激励会 決意表明!! 】(写真は昨年度のもの)

< 学校のホームページはこちらです >

<https://murata-h.myswan.ed.jp>

### （３）佐沼高校<「地域を支える」「世界とつながる」>

佐沼高校は創立120年の歴史を持つ伝統校で、これまで地域を支える多くの人材を輩出してきました。前・現登米市長さん、ウジエスーパー社長さんも同窓生で、七十七銀行頭取をされた方もいます。そのほかにも、岩手・宮城県職員、宮城県警察官、登米・栗原市役所職員などの公務員として、また地域の医療機関、民間企業・事業所の一員として地域の行政、医療・福祉、経済活動等に尽力されている方々が多数おられます。近年の卒業生の進路先としても地元で働くことを選ぶ生徒が少なからずいます。

高校卒業後すぐに働く生徒にしても、進学後に地元で働きたいと思う生徒にしても、地域のことを知ることは大切であると考え、総合的な探究の時間を中心に、地域の課題から世界共通の課題解決に向けた探究活動を進めています。直接地域を支えることの大切さは変わりませんが、グローバル化、情報化が一層進む現代社会では、間接的に地域と関わり、支えていくことも可能です。地域への視点を持ちつつ、地域と世界をつなぎ、世界で活躍する人材の育成に取り組んでいます。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sanuma.myswan.ed.jp/>

### （４）志津川高校<志津川高校の名前が一躍全国区に>

全国で一斉を風靡したペヤング『たこめし風』。2022年2月7日（月）に店頭に並ぶと、すぐに売り切れるほど爆発的な大ヒットとなりました。パッケージには本校校章・校名と共に『宮城県志津川高等学校と共同で企画した商品です』の文字が。同月21日（月）に発売となった『わさび醤油味』についても大きな話題となり、多くのメディアで取り上げていただきました。きっかけは志津川高校商業部が60種類以上の新商品案をペヤングを販売するまるか食品さんに提案したことが始まりでした。『ノーペヤングノーライフ』を謳い、ペヤングをこよなく愛する顧問と、それに賛同する商業部員たちの強く深い想いがまるか食品さんに伝わり、この企画が実現しました。まるか食品さんには商業部のこの想いに超本気で応えていただき、高校生が考えた味と共に『志津川高校』の名前が全国に知れ渡ることになりました。11月7日（月）にはコラボ企画第3弾ペヤング『たっぷりわかめやきそば』が販売されます。みなさん、こちらもぜひご賞味ください。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sizugawa-hs.myswan.ed.jp/>



## 5 お知らせ

### (1) 宮城野高校<宮城野高等学校第26回卒業制作美術展>

美術科と総合学科美術系列に所属する生徒は、「美術」という分野の学びに特化し、3年間という短い期間で感性を磨き、知識や技術の向上に取り組んでいます。この卒業制作美術展はその学びの集大成として毎年11月に開催しています。

今年は「Dear.」というテーマです。Dear.という言葉は英語圏での手紙の宛名に使われます。同様に To.も使われますが、Dear.はより感情を込めた、あえて日本語に訳するならば「親愛なる～」という意味の言葉です。自分自身も含めたあらゆる対象に向けた感情に焦点を当てたテーマにしました。内容は洋画・日本画・彫刻・クラフトデザイン・ビジュアルデザインの5つの専攻から45名の個性あふれる作品の展示を行います。併せて美術科1・2年次の授業作品も展示します。

この卒業制作美術展は11月8日(火)から13日(日)の間、午前10時から午後7時まで(最終日は午後5時まで)仙台市宮城野区文化センターで開催します。入場無料です。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://miyagino.myswan.ed.jp/>

### (2) 一迫商業高校<「きてけさいん」・一迫あやめの里>

今年度も3年生の販売実習「きてけさいん」を実施します。本校で取り組んでいる栗原版デュアルシステムでは、3年生が「企業実習・起業家研究・販売実習」の3つの班に分かれ、地域と連携して地域活性化に向けて取り組んでいます。その中の一つである「販売実習」は、消費者の求めている商品やサービスを調査し、商品の仕入れ・販売・広告作成・会計処理の全てを生徒が実際に行う学習です。商業高校ならではの楽しい販売実習ですので、お客様として御来場いただき学習活動に御協力をお願いします。

販売商品は、日本各地で評判となった美味しいものを仕入れています。

【昨年度の仕入れ商品】

東京クリーム大福、大阪ほころん、苺きららクッキー、ふわふわ生どら、善光寺しょうゆ豆、奥州ポテト、生八つ橋、明太子のり、旨シュー、ご飯にかける飛騨牛ハンバ具一

【今年度の実施日時】

1回目 11月11日(金)、2回目 11月25日(金) どちらも午後2時開始

※ 仕入れ商品は、後日、本校 HP に掲載します。昨年度は開始1時間で完売となりましたので、早めに御来場ください。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://ichisho.myswan.ed.jp/>